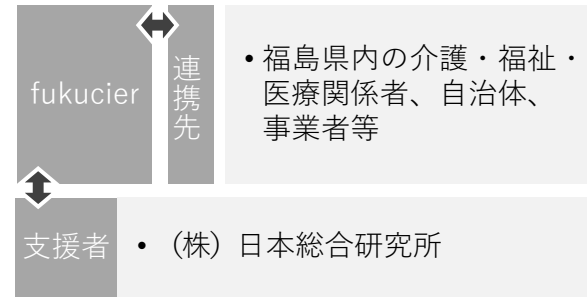


アクティブシニアや子育て中の女性が、支援が必要な高齢者や障がい者等を支える介護マッチングシステムの発展

取組背景・地域課題

- 福島には震災後の避難により身近に頼れる人がいない高齢者や公的支援の枠に収まらない生活支援ニーズを持つ高齢者・障害者も多い。一方、自身の時間やスキルを活かしたいシニア層や主婦等も存在。
- fukucierは、両者をマッチングして介護保険外の生活支援サービスを提供する事業を2018年から実施。福島県内で160名超のサービス提供者（コンシェルジュ）を集め、幅広い生活支援ニーズに対応。高齢者・障害者等の暮らしを支えつつ、多様な人々の柔軟な働き方を実現する仕組みをさらに広げ、地域課題解決への貢献を目指す。

取組体制



取組の目的と内容

介護・福祉・医療関係者、自治体、事業者等と連携しながら、生活支援サービスのさらなる拡大や、新たな事業展開を図り、多様な地域課題の解決に貢献する

1 コンシェルジュの働く意欲に応える生活支援サービス利用者数の拡大

- コロナ禍もありコンシェルジュとして働くことを希望するアクティブシニア・主婦・副業希望者等が増加。
- その力を活かし生活支援を広げていくため、介護・福祉・医療関係者、自治体、事業者等とも連携した効果的な利用者拡大の方策を検討・試行。

2 fukucierの強みやネットワークを活かした地域課題解決に貢献する新たな事業の展開

- サービスの広がりとともに、fukucierの事業に関心を持つ介護事業所、企業、専門職等も増えている。そうした方々のニーズに応える新事業や、コンシェルジュとのネットワーク等の強みを活かした新事業を新たに企画。多様な地域課題解決への貢献のあり方を整理。

取組のポイント



自治体との意見交換資料

自治体との意見交換から連携事業を創出！

- 福島県内広域で生活支援サービスをさらに広げ地域の生活課題解決に貢献するため、県内9自治体との意見交換を実施。高齢者等の暮らしを支えるうえでの各地の課題を把握。
- また次年度、高齢者の住まいの確保の支援に向けた自治体との連携事業を行う見通しとなった。



不動産会社連携セミナー

高齢者・障害者等の暮らしを支える企業との連携！

- 福島県内の企業・団体に対しても、地域の暮らしを支える連携を図るためアプローチを実施。
- 賃貸物件紹介に力を入れる不動産会社と、高齢者や障害者等の円滑な賃貸物件入居に向けて共同し、大家向けセミナーを実施するなど、企業との新たな連携を開拓することができた。



でいぐにてい訪問の様子

新事業の立ち上げ方針を具体化！

- コンシェルジュとのネットワークなど強みを活かした事業案として、訪問介護事業を検討。
- 先駆的事業者（東京都新宿区・でいぐにてい）の訪問等を通して事業開設・運営方針を具体化し、収支シミュレーション等も実施した。

取組の主な成果

- 自治体や企業との連携開拓に加え、介護・福祉・医療関係者や県内個人向けの情報発信等の活動も進めた結果、**前年比約30%の利用者数の増加**に結び付けることができた。
- 自治体との連携事業の創出、不動産会社との連携の取組創出の経験から、**多様な主体と連携した地域の生活課題解決のノウハウ・雛形**を得ることができた。
- 今後のfukucierの発展の方向性についても整理を実施。**生活支援サービスの利用拡大に加えて新事業（訪問介護事業）にも取り組んでいく**ことで、団体としての**経営基盤を強化しつつ、より幅広く地域の生活課題解決に貢献していく方針**を明確にすることができた。



fukucierによる生活支援サービス提供の様子

支援対象団体担当者からの声

“ およそ1年にわたる伴走支援のなかで、継続的に「壁打ち」をさせていただくことができたのがとてもありがたかったです。自治体や企業との連携については、どう提案や意見交換を進めていけばいいか、一緒に動く中で学ぶことができました。また、志の部分に加えて、自分たちの事業をデータや客観的な視点から振り返ることもサポートいただきました。伴走支援後の事業や体制についても考えを深めることができ、今後につながるとても良い機会になりました。 ”